

きんき じどうしゃどうきせいせん おわせきた きいながしま
近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)

くまのおわせ
一般国道42号 熊野尾鷲道路

(道路事業)

説明資料

平成31年1月28日

中部地方整備局
紀勢国道事務所

目 次

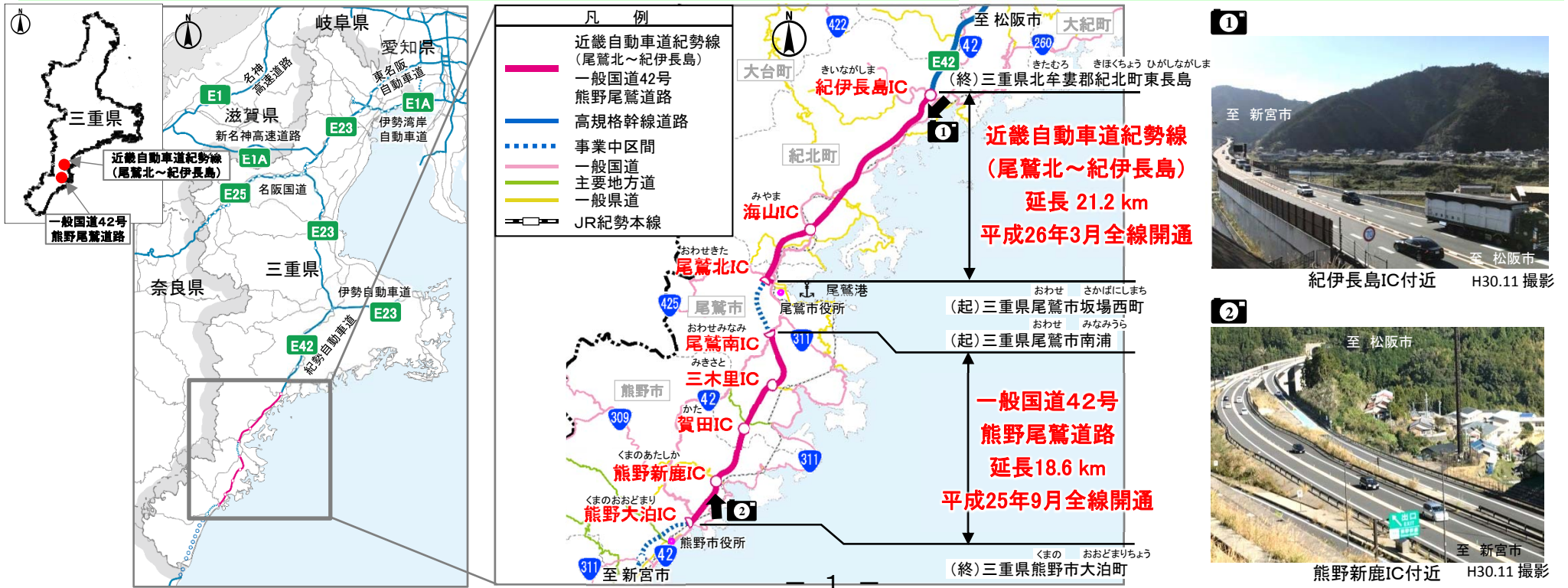
1. 事業概要	
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1) 事業効果の発現状況	
①広域ネットワークの構築	P 4
②災害に強い道路機能の確保	P 5
③地域活性化の支援(地場産業の支援)	P 6
④地域活性化の支援(物流の効率化)	P 7
⑤救急医療活動の支援	P 8
3. 社会経済情勢の変化	
①幹線ネットワークの拡充	P 9
4. 対応方針(案)	P10

1. 事業概要

(1) 事業目的

- 近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点とし、紀伊半島沿岸を通り三重県多気郡多気町で近畿自動車道伊勢線につながる延長約336kmの国土開発幹線自動車道です。
- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)は、三重県尾鷲市坂場西町から三重県北牟婁郡紀北町東長島に至る延長21.2km、一般国道42号熊野尾鷲道路は、三重県尾鷲市南浦から三重県熊野市大泊町に至る延長18.6kmの自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、地域活性化の支援、救急医療活動の支援を目的に計画された事業です。
- 一般国道42号熊野尾鷲道路の延長18.6kmは平成25年9月、紀勢自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)の延長21.2kmは平成26年3月に全線開通しました。

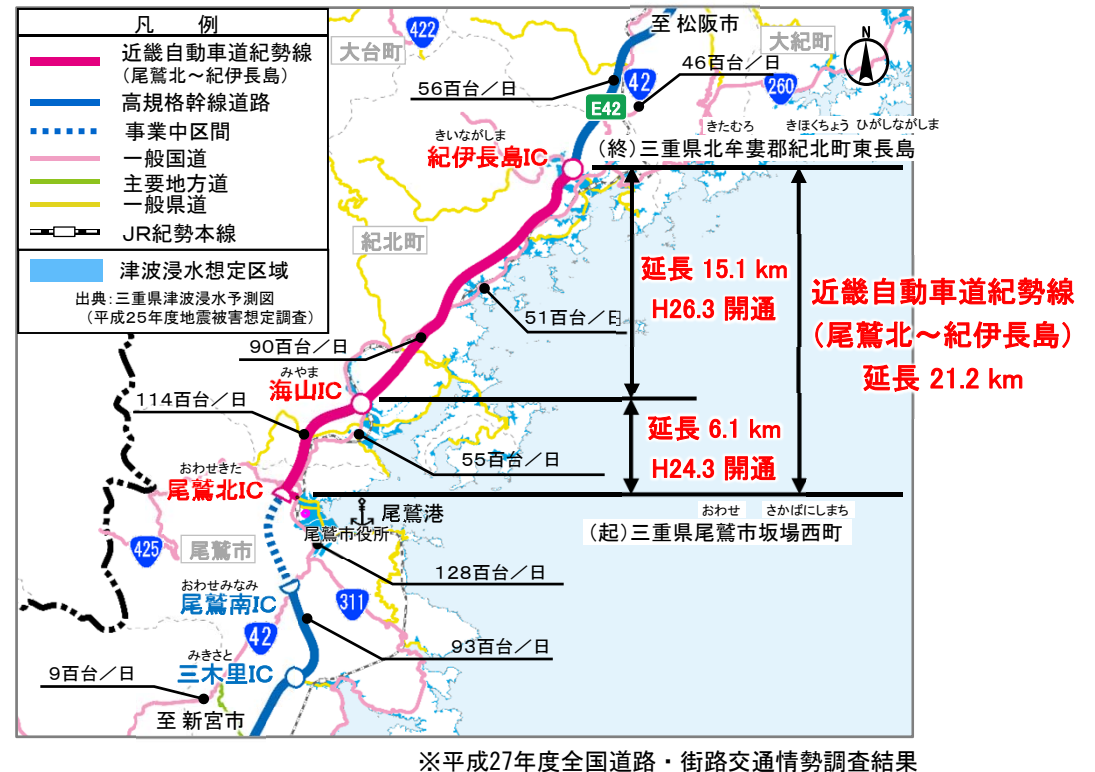
近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)・熊野尾鷲道路の全体位置図



1. 事業概要

(2) 計画概要

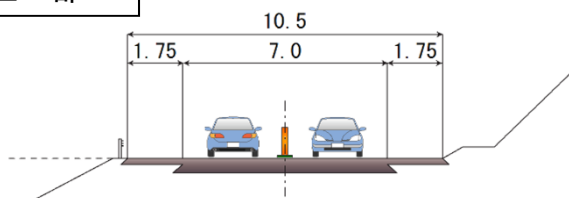
事業名	近畿自動車道紀勢線 (尾鷲北～紀伊長島)
延長	21.2 km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80 km/h
車線数	2車線
都市計画決定	平成8年度
事業化	平成11年度
用地着手年度	平成17年度
工事着手年度	平成18年度
工事完成年度	平成25年度
全体事業費	1,097億円
計画交通量	12,100台/日
B/C	1.4



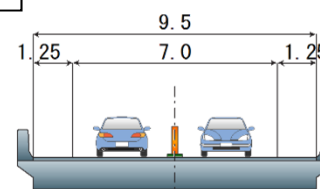
標準断面図

単位：m

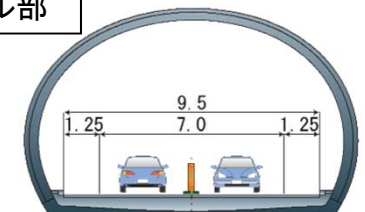
土工部



橋梁部



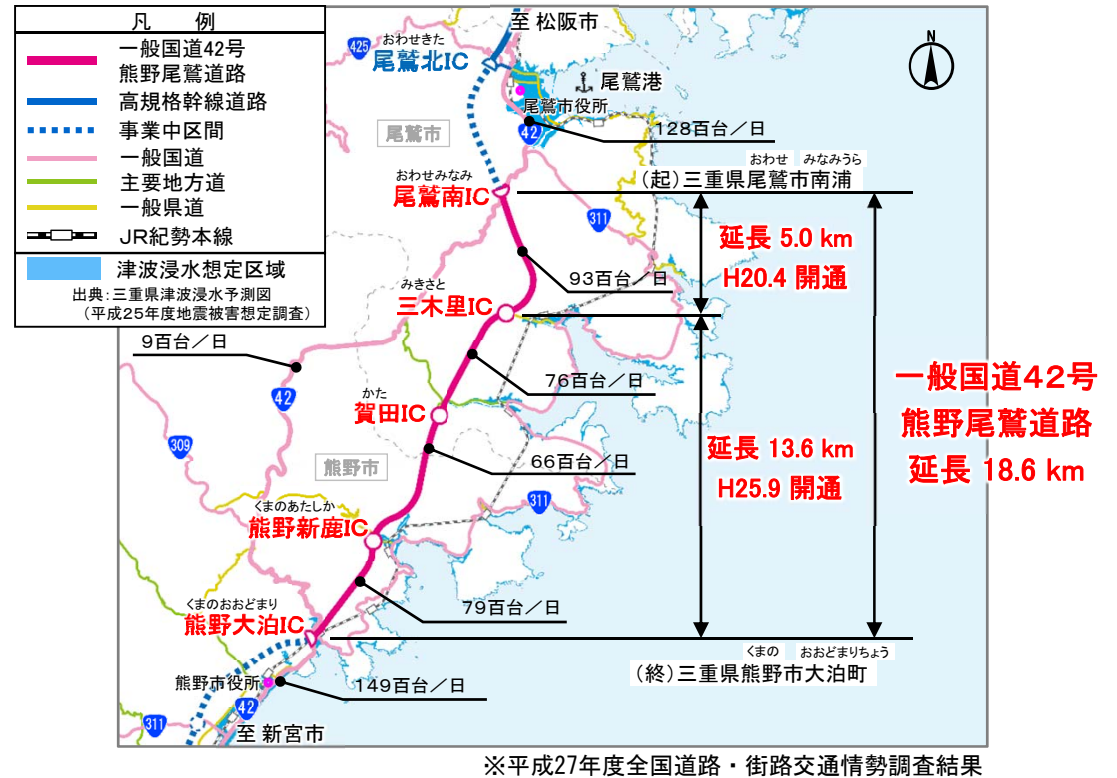
トンネル部



1. 事業概要

(2) 計画概要

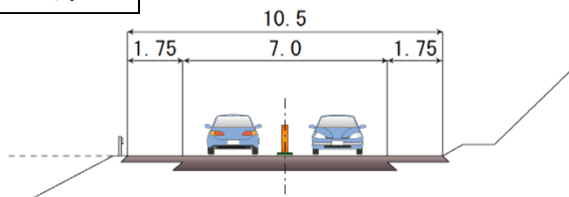
事業名	一般国道42号 熊野尾鷲道路
延長	18.6km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線
都市計画決定	平成8年度 (平成11年度変更)
事業化	平成8年度
用地着手年度	平成14年度
工事着手年度	平成14年度
工事完成年度	平成25年度
全体事業費	1,048億円
計画交通量	11,100台/日
B/C	1.5



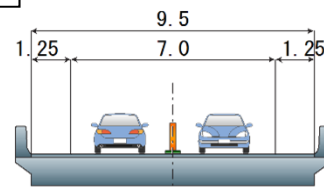
標準断面図

単位:m

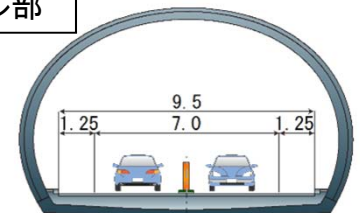
土工部



橋梁部



トンネル部



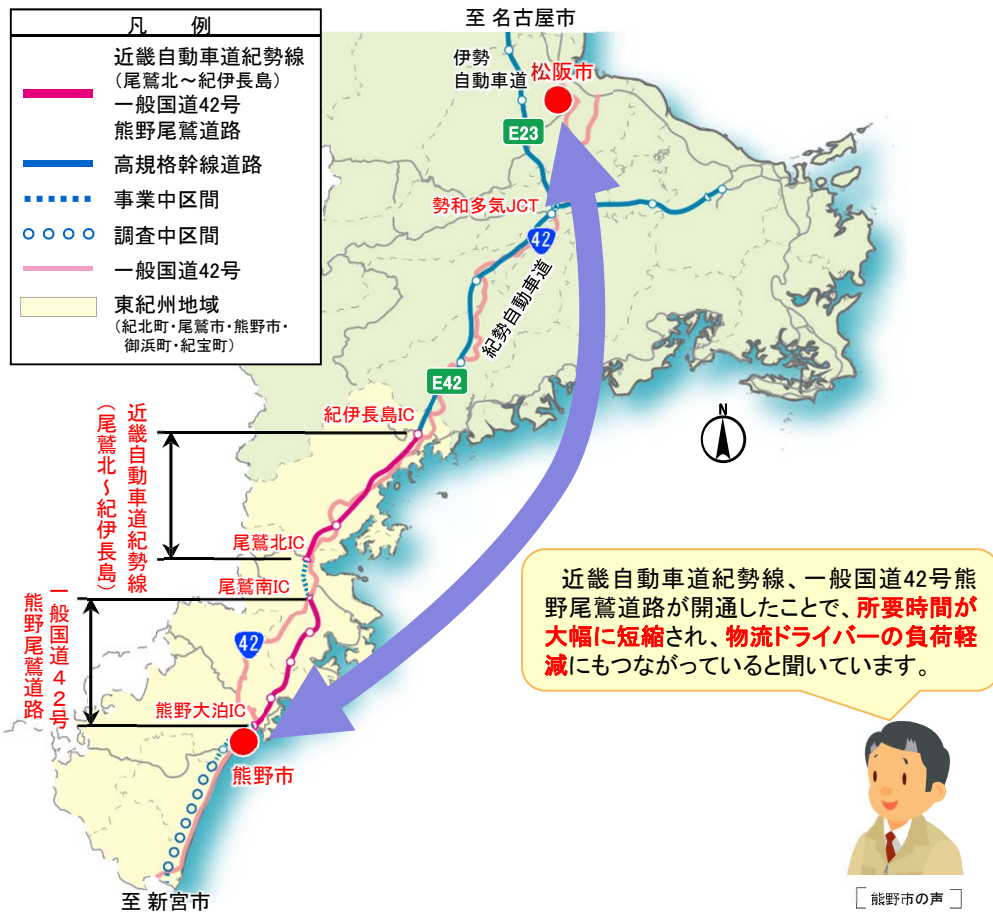
2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

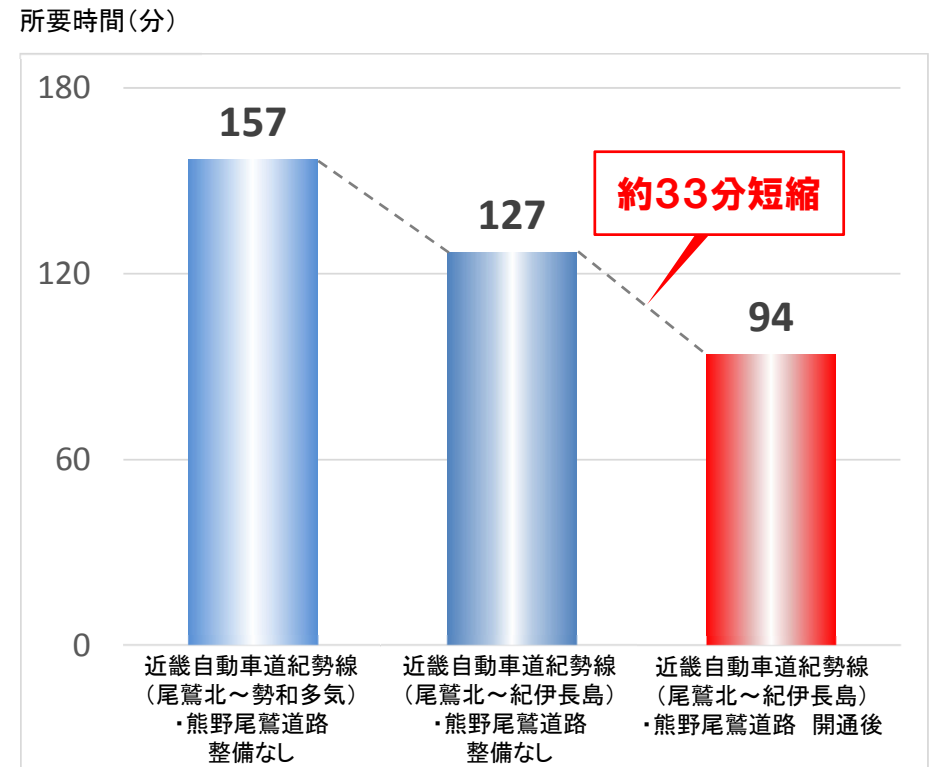
① 広域ネットワークの構築

- 三重県東紀州地域は高速道路ネットワークが未形成の状態となっており、隣接した日常活動圏の中心都市である松阪市への移動に多くの時間が必要でした。
- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路の開通に伴い、アクセス性が向上し、熊野市から松阪市までの所要時間が大幅に短縮しました。

○ 東紀州地域の高速道路ネットワーク図



○ 熊野市から松阪市までの所要時間の経年変化



※所要時間は、近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～勢和多気)・熊野尾鷲道路整備なしは平成17年度、近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)・熊野尾鷲道路整備なしは平成22年度、開通後は平成27年度の全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)をもとに作成

2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

② 災害に強い道路機能の確保

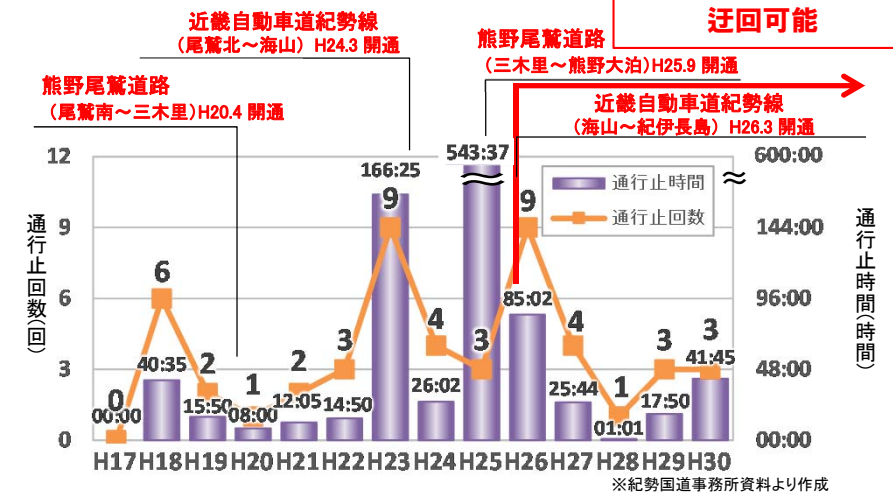
- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路と並行する国道42号では、雨量・災害に伴う通行止を開通後延べ42回、約940時間実施しました。
- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路の開通により、地域経済や地域間交流がストップすることなく、災害に強い道路としての機能を発揮しています。

○ 事前雨量通行規制区間及び直近の災害発生箇所



○ 国道42号の通行止回数と通行止時間

国道42号の通行止時も迂回可能



尾鷲市は国道42号が通行止になると陸の孤島になっていました。現在では国道42号が通行止になっても高速道路があるので、医療・物流・人の移動などすべての面において安心です。



【尾鷲市の声】

2. 評価の視点

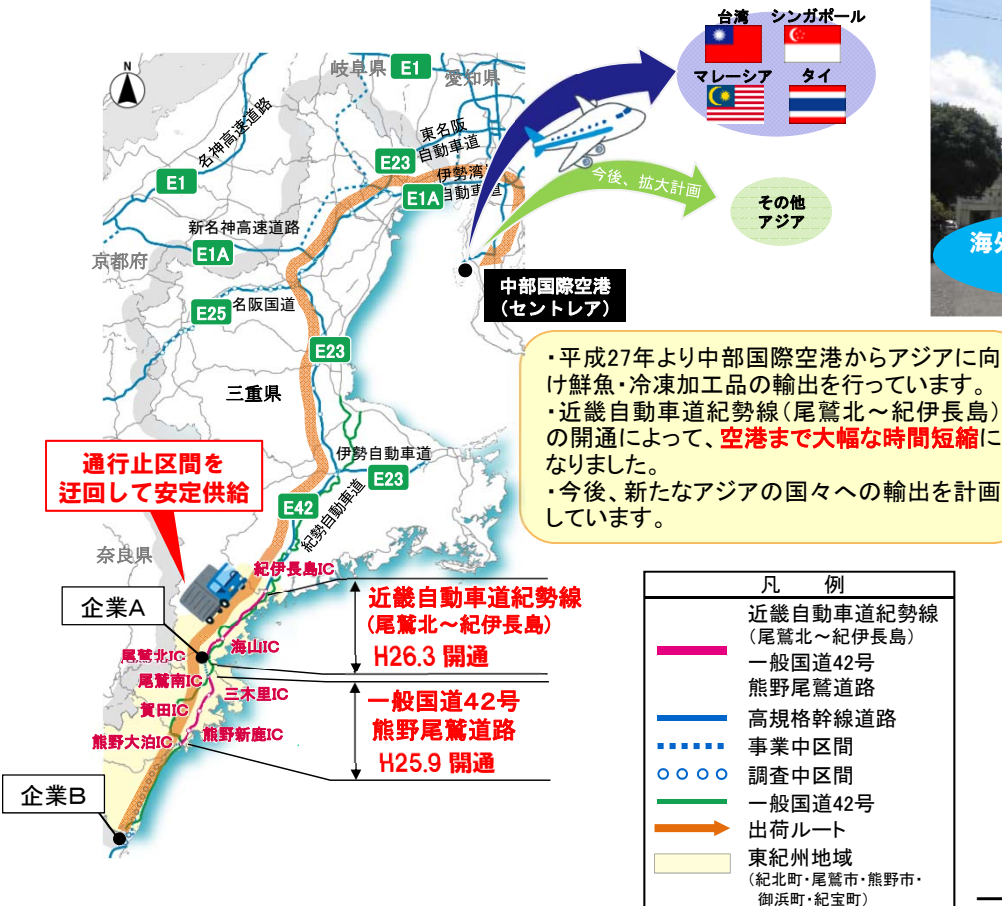
(1) 事業効果の発現状況

③ 地域活性化の支援(地場産業の支援)

- 養殖ブリの輸出拡大に向け、尾鷲市にある企業では水産加工品の輸出拡大のために急速冷凍保管庫を建設、新宮市にある企業では加工処理能力が国内最大級の水産物加工工場を建設しました。
- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路の開通など、安定供給ルートの実現により民間投資が拡大するとともに、養殖ブリの海外への販路拡大など、地域産業を支援しています。

○ 工場から海外への出荷ルート

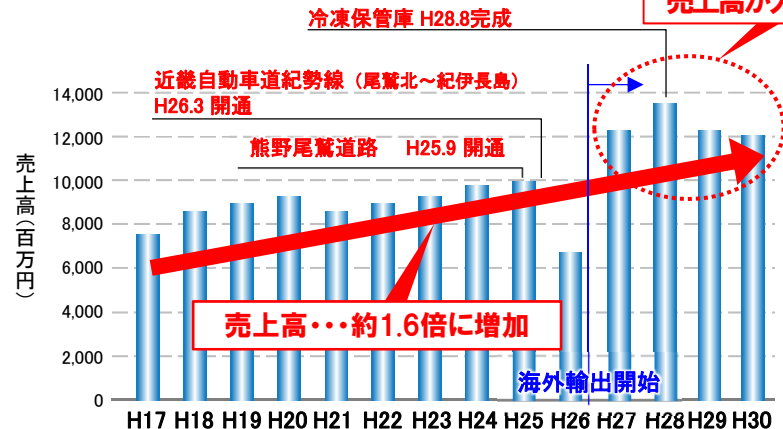
○ 出荷拡大に向け民間投資が拡大



急速冷凍保管庫を建設(企業A)

国内最大級の水産物加工工場を建設(企業B)

○ 企業Aの売上高の推移



海外輸出が可能になり
売上高が大きく増加

※企業Aのホームページより作成
 ※H26は決算変更に伴い7カ月間の売上

2. 評価の視点

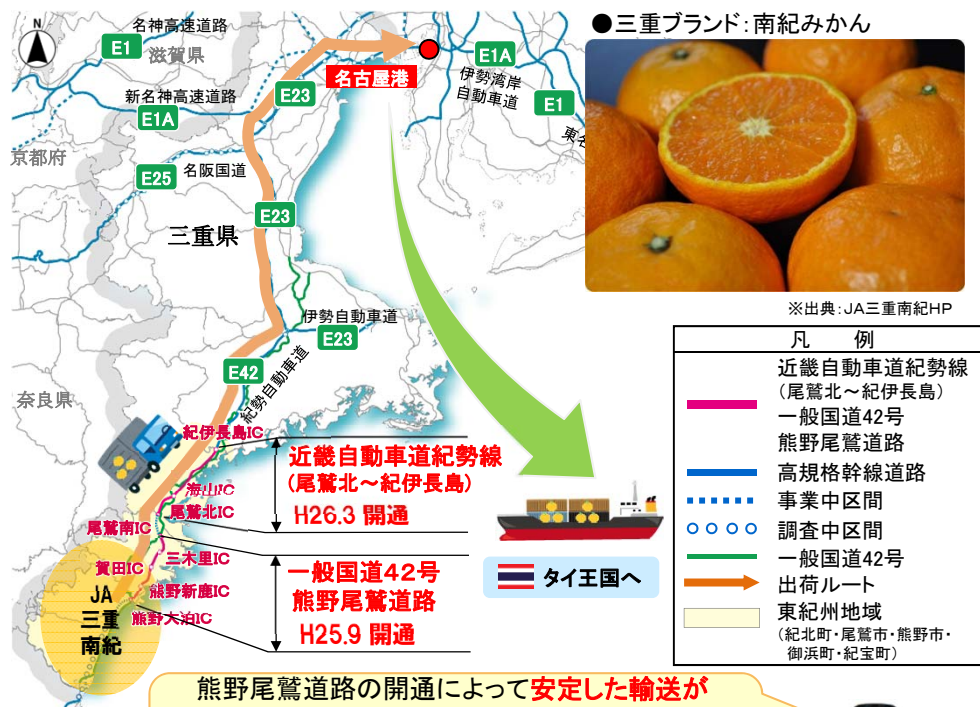
(1) 事業効果の発現状況

④ 地域活性化の支援 (物流効率化の支援)

- JA三重南紀※は、地域の温暖な気候を活かした柑橘類の生産とブランド化を推進し、「三重南紀みかん」をタイ王国へ輸出しています。
- 近畿自動車道紀勢線 (尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路の開通により、輸送時の揺れによる荷傷みが減少し、安定輸送が実現、輸出量が初出荷時から約16倍に増加しました。

※JA三重南紀：熊野市、御浜町、紀宝町

○JA三重南紀から海外への出荷ルート



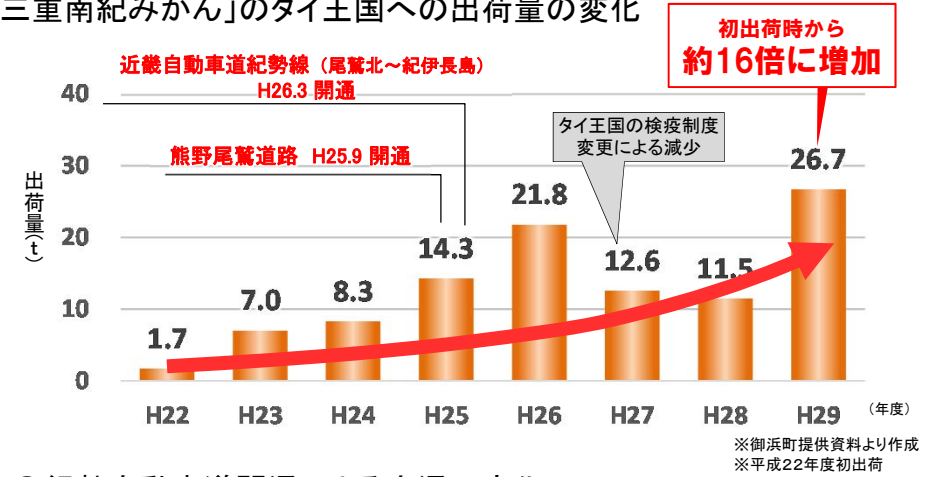
熊野尾鷲道路の開通によって**安定した輸送ができることや、曲がりくねった峠道を避けることで、みかんが痛みにくい**という効果を実感しています。



東紀州ネットワーク協同組合の声

※紀勢国道事務所・御浜町によるヒアリング調査結果より作成

○「三重南紀みかん」のタイ王国への出荷量の変化



○紀勢自動車道開通による交通の変化



峠道で急カーブが連続する国道42号



安定輸送が実現した紀勢自動車道

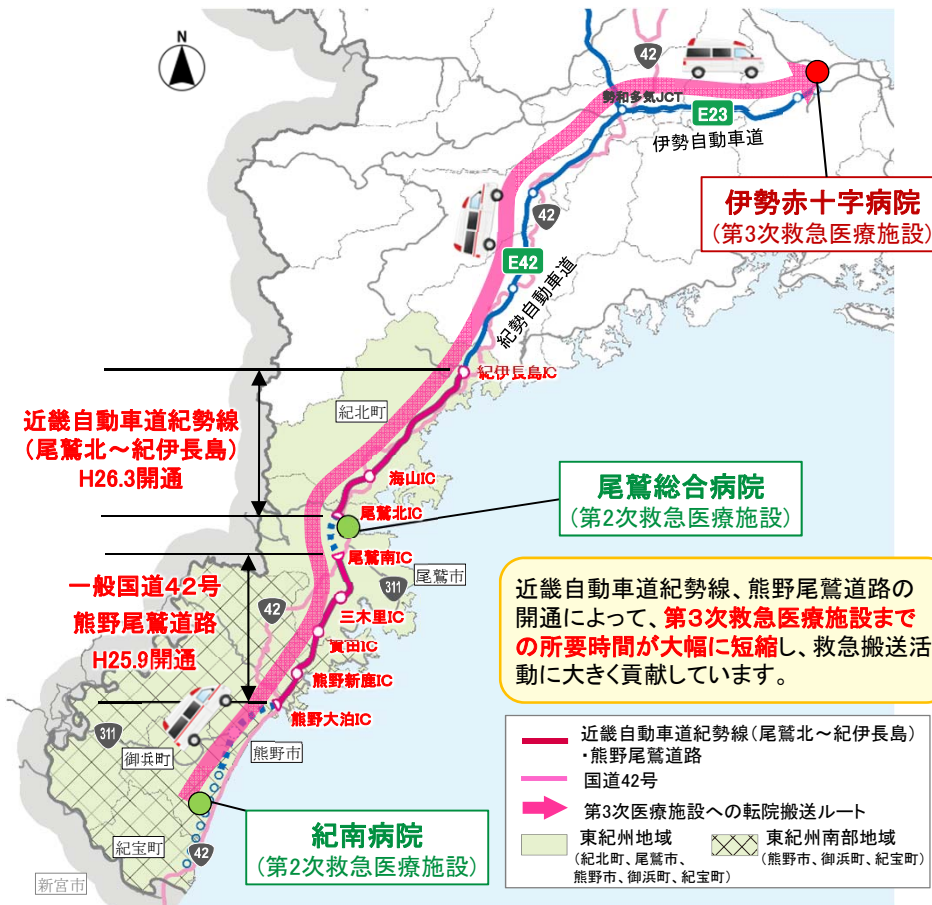
2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

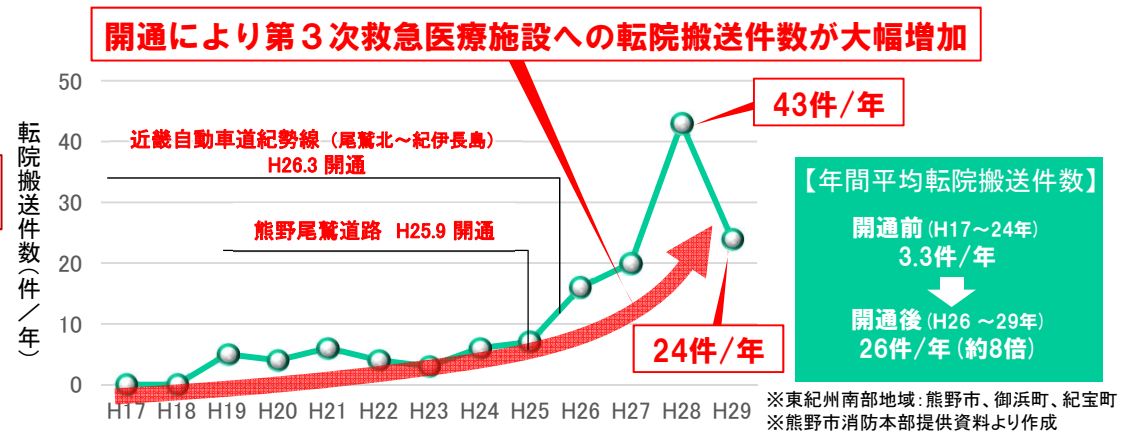
⑤ 救急医療活動の支援

- 東紀州地域の2つの第2次救急医療施設から第3次救急医療施設への搬送時間が長いことから、2つの第2次救急医療施設が連携して地域医療を担っていました。
- 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、第2次救急医療施設から第3次救急医療施設への転院搬送時間が短縮し、第3次救急医療施設への転院搬送件数が大幅に増加しています。

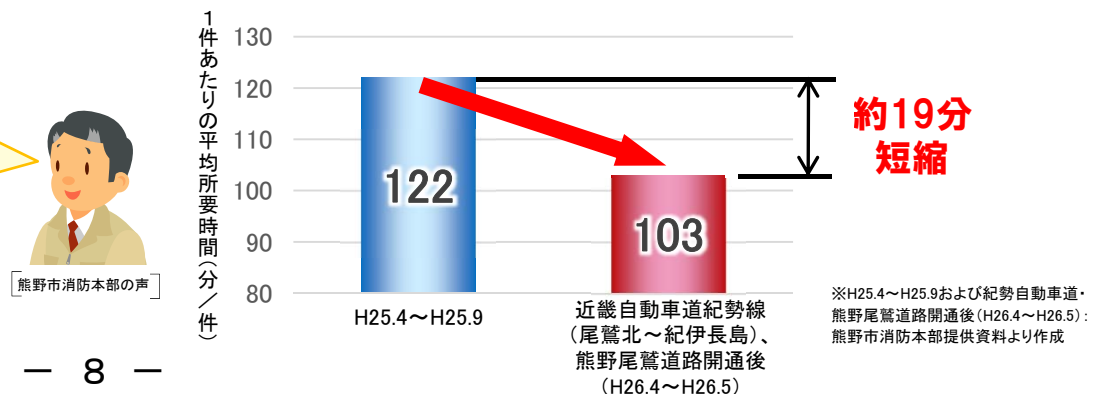
○ 医療施設位置図



○ 東紀州南部地域※から第3次救急医療施設への転院搬送件数の変化



○ 紀南病院から伊勢赤十字病院への転院搬送時間の変化



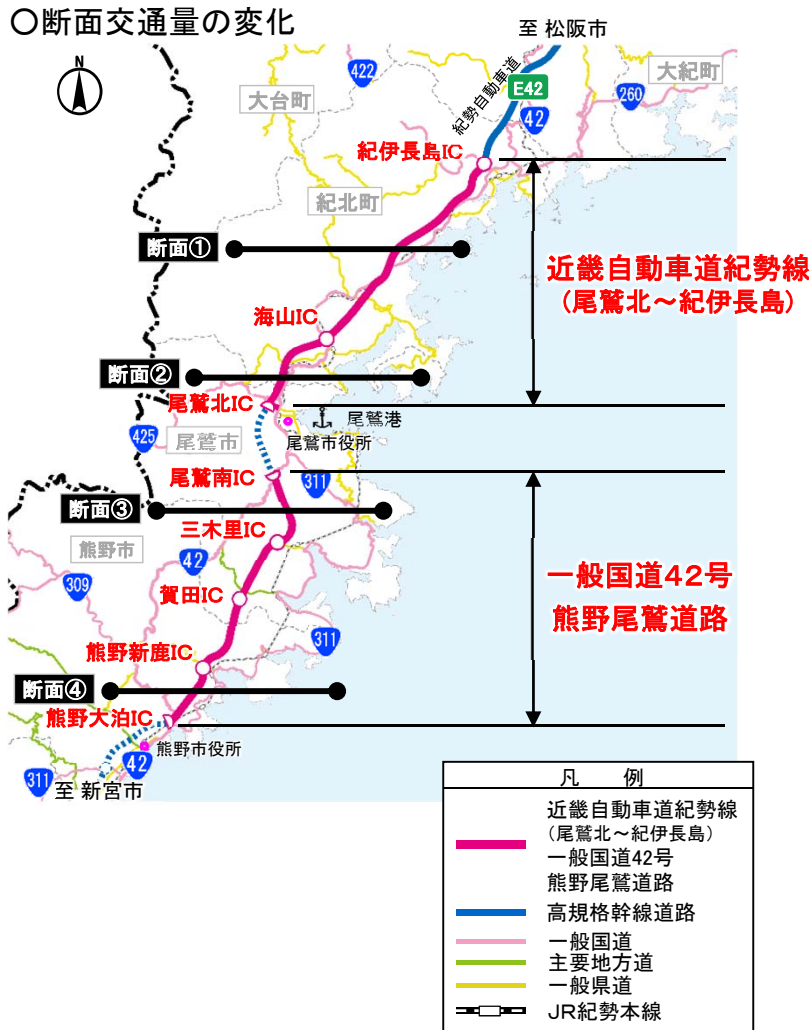
熊野市消防本部の声

3. 社会経済情勢の変化

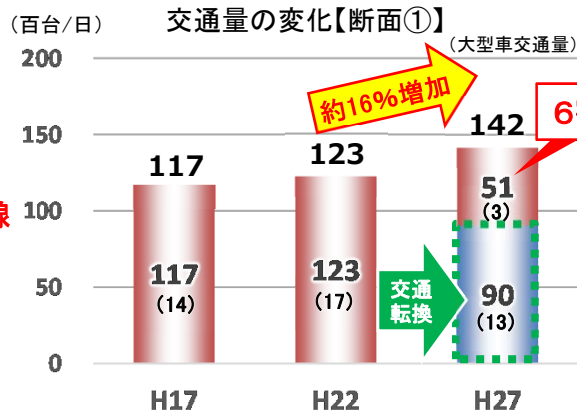
① 幹線ネットワークの拡充

- 近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀勢長島)、熊野尾鷲道路が開通し、幹線ネットワークの拡充が図られています。
- 地域の大動脈である近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路が開通したことで国道42号の交通量は約7割減少し、近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路への転換が図られています。特に、大型車の転換が多く図られています。

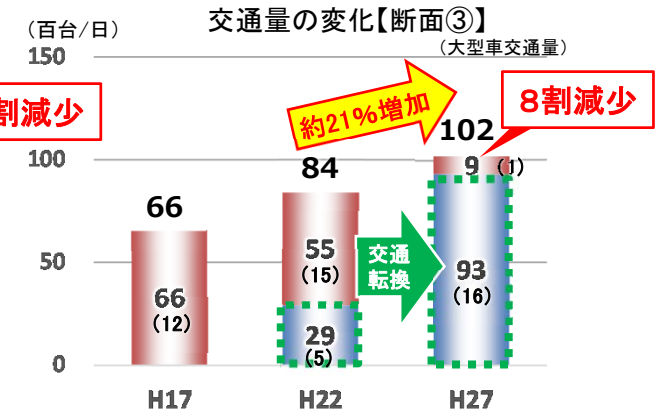
○ 断面交通量の変化



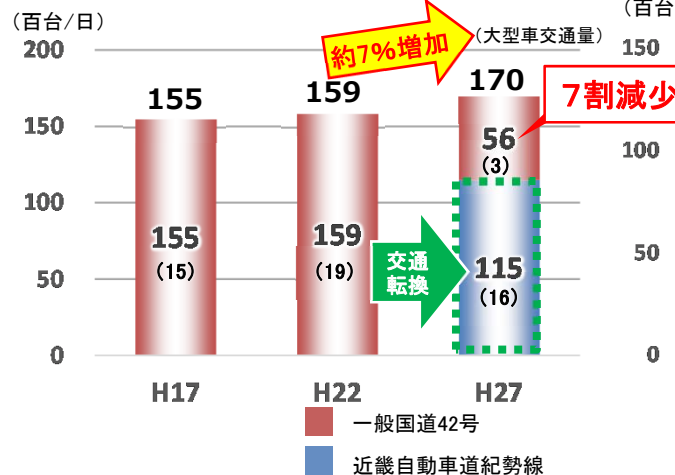
近畿自動車道紀勢線



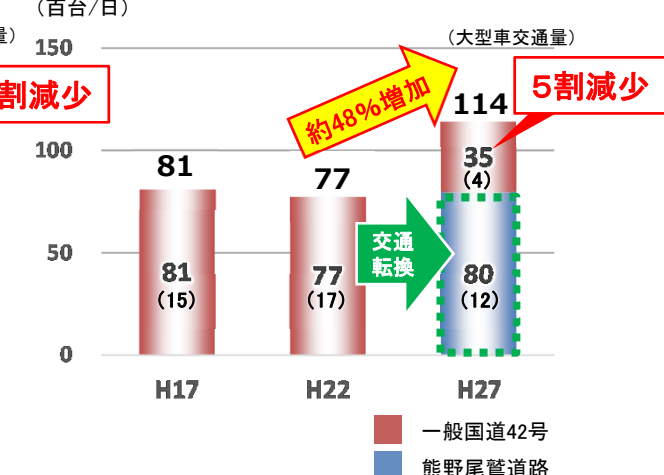
熊野尾鷲道路



交通量の変化【断面②】



交通量の変化【断面④】



4. 対応方針(案)

(1) 今後の事業評価の必要性

■近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路は事業が完了しており、整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

(2) 改善措置の必要性

■近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島)、熊野尾鷲道路は、整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

(3) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

■同種事業の計画・調査にあたっては、広域的な効果が発現するという観点で道路整備による多面的な効果の把握に努める必要があると考えます。

また、事業評価手法の見直しの必要はないと考えます。